

復興支援活動推進業務 復興支援員研修（１）（２） 実施要領

会議名	いまさら聞けない「会議」の開き方 ～「物言わぬ人たちが」主役になる動きを起こしていくために～
開催日時	研修（１） ９月１０日（火）１３：３０～１６：３０（１３：００開場） 研修（２） ９月２７日（金）１３：３０～１６：３０（１３：００開場）
開催会場	東松島市コミュニティセンター ２階 会議室 （宮城県東松島市矢本字大溜 1-1） （会場電話 0225-82-6969）
定員	20名
対象者	復興支援員／自治体担当者／社会福祉協議会担当者 地域住民と向き合う支援団体担当者
ねらい	復興・創生期間も残り２年を切りました。復興・創生期間の後も地域が必要とする取組は、地域住民自ら担っていく必要があります。そのためには、今からその準備を進めておくことが大切です。 今回の研修では、参加者が公平に、参加が促進されるような地域内の話し合い・会議のあり方を、講義と実習を通じて学びます。業務で明日から活用できる考え方を持ち帰ってください。 ※２回連続の講座になります。いずれかのみでの参加も可能ですが、定員超過の場合は、２回とも参加可能な方を優先いたします。
内容	研修（１） 参加者が公平になる会議/ファシリテーション講座 講師 皇學館大学教育開発センター（三重県） 准教授 池山敦さん 合同会社人まち住まい研究所（兵庫県） 代表社員 浅見雅之さん 山元復興ステーション 橋本大樹さん、岩佐貴美子さん 講義と実技のテーマ（予定） ・参加者が公平になる会議 ～場の安全の確保～ ・硬い会議にならず、参加者が何でも発言できる雰囲気づくりの方法 ・たくさんのアイデアを出すワークショップの方法など ・声の大きい参加者に場を左右されない雰囲気づくり 研修（２） ファシリテーショングラフィック講座 講師 合同会社人まち住まい研究所（兵庫県） 代表社員 浅見雅之さん 山元復興ステーション 橋本大樹さん、岩佐貴美子さん 講義と実技のテーマ（予定） ・話していることを目の前で記録する「ファシリテーショングラフィック」 研修（１）（２）とも実技の内容は参加者の皆さんのニーズをもとに決めます。

主催	宮城県（震災復興・企画部地域復興支援課）
開催協力	一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム 特定非営利活動法人地星社 宮城県サポートセンター支援事務所（宮城県社会福祉士会） 特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所 山元復興ステーション

講師プロフィール

池山敦さん

1972年三重県生まれ 皇學館大学教育開発センター准教授

専門はファシリテーション、ワークショップデザイン。学生の地域活動に関する教育プログラム策定及び運営、地域志向科目、PBL 科目を担当。地域住民の対話プロセス、住民参加による自己決定、コミュニティ政策について研究。大阪大学ワークショップデザイナー育成プログラム第6期修了、認定ワークショップデザイナー。

浅見雅之さん

建築家、地域コーディネーター、一級建築士。

2010年に「人・まち・住まい研究所」を設立。ドアノブのような小さなモノから、地域計画のような大きなモノのデザインを対象に、計画に関係する全ての人々の関わり方の「プロセスデザイン」を得意分野とし、住民参加によるデザイン・設計・運営等をコーディネート。兵庫県内で小規模集落の活性化・景観形成地区指定調査、オールドニュータウン再生計画・建築協定の締結支援・まちづくり協議会運営支援などに関わる他、兵庫県外でも宮城県気仙沼市・山元町、熊本県南阿蘇、倉敷市真備町にて復興まちづくりの支援活動を行っている。神戸市立工業高等専門学校都市工学科・摂南大学理工学部・神戸学院大学現代社会学部非常勤講師

<会場案内図>

東松島市コミュニティセンター 2階 会議室

住所 宮城県東松島市矢本字大溜 1-1

会場電話番号 0225-82-6969

